

受賞おめでとうございます

大田区区政功労者賞

◆自治会・町会（会長・副会長）
笹井 昭

◆保護司 宇根元 文史朗
◆消防団 渡辺 治雄
◆統計調査員 岩井 信二郎（敬称略）

ダイシン百貨店の建て替え工事始まる

ダイシンの大森本店は、近年老朽化が進み、耐震性の問題もあって、この2月に店舗建て替え工事が動きだしました。

片側で営業、片側で工事をし、全工事が完了する予定の2012年には、鉄筋造り5階建、売り場面積は現在とほぼ同じの新店舗が完成します。

樹木と緑化壁面のある自転車置き場、4階と屋上には約200台収容の駐車場が備えられており、これで歩道の混雑や有名な池上通りの〈ダイシン渋滞〉も解消されることでしょうか。



完成予定図

新井宿の人物紹介

ご存知ですか、活版印刷？現在は機械を使用した印刷が主流ですが、1960年頃までは金属文字を一文字づつ木箱にひろって印刷原版を作る活版印刷が印刷の中心でした。

この金属文字の原型「種字」を作る名人だった方が新井宿にお住まいです。清水金之助さん(88歳)。ルーペを覗きながら、マッチ棒の先端ほどの大きさの鉛地金の面に彫刻刀で左右が逆の反転文字を下書きなして彫りだしていきます。



14歳で名人といわれた方に弟子入りし、戦後大田区に工房を設立。1961年に廃業されたとのことですが、近年活版印刷の文化的な価値が注目され、2004年に復活。この1月には、大田文化の森で個展・実演会を開かれたそうです。

今年も恒例の、子どもガーデンパーティーが、大田文化の森・入新井第二小学校・新井宿福祉園を会場に4月25日(日)に開催されます。

編集後記

「わがまち新井宿」は、今回で第50号発行というひとつの区切りを迎えることになりました。

2・3面の特集は、地域デビューをされた人たちの体験談を載せました。

すでに、大田区自治会連合会から「地域デビューで新しい仲間づくり!」、「新井宿地区の自治会・町会の案内」のパンフレットが発行されています。

<高橋編集委員長>

発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

- 山王三・四丁目自治会 編集委員長 高橋 紗英子
新井宿五丁目町会 副編集委員長 谷口 敏子
山王三丁目東自治会 編集委員 荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会 編集委員 大瀧 真理子
山王三丁目町会 編集委員 荒井 壽子
中央一丁目町会 編集委員 藤 藤 蓉子
中央四丁目町会 編集委員 若生 一順
新井宿六丁目町会 編集委員 河原 神風代
新井宿七丁目町会 編集委員 石田 小夜子

監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14 ☎3776-5391
http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html

わがまち Araijuku 新井宿



「ドングリと山猫」
入二小4年 外山 剛さんの作品

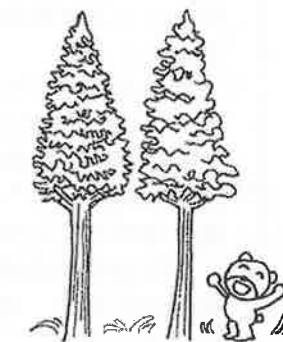
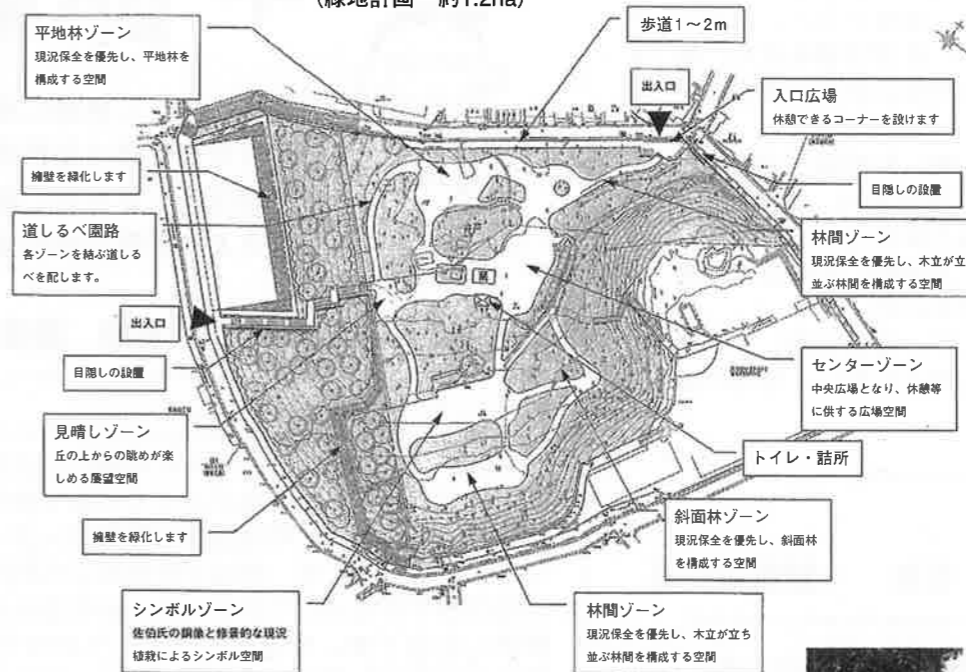
佐伯山の雑木林が緑地公園として整備されます

佐伯栄養学校の裏山は、長い間手つかずのまま、自然林と呼んでいいほどに樹木が茂っています。大田区は、この貴重な地をできる限り手を加えずに、現在の植生を守って、区の森、里山の再生をコンセプトに緑地公園として整備することになりました。

2月5日、説明会が開かれ、区から緑地計画の資料が提示されましたので、ご紹介します。

(仮称)中央五丁目緑地計画図(案)
(緑地計画 約1.2ha)

平成22年2月5日
説明会資料



お問い合わせ先
大田区役所建設工事課
電話 5764-0705

整備スケジュール(予定)

Table with 2 columns: Schedule (Year/Month) and Description of work (e.g., basic plan, construction, etc.)



1月31日、現状開放の見学会開催。厚い落葉のじゅうたんを踏んで散策を楽しみ、南側にひらける眺望に感激。

♪山王三丁目町会 狭田 悦子さん

50年～100年後の山王はどうなっているでしょうか？

私は山王三丁目に住んで20年になります。大森駅山王口地区まちづくり協議会の参加は、近所の方に誘われたのがきっかけです。当初は付き合い程度の気持ちで、息子が喝あげ被害にあい、また、狭い路での自らの危険な体験を機会に積極的に参加するようになりました。

私の活動で山王の街が大きく変わることはないかもしれませんが、その変化の種を蒔くことはできます。そして、将来、子や孫が山王に住んでいて良かったと言ってくれる街になることを願います。

♪新井宿六丁目町会 遠藤 輝子さん

ひとときわ和服が映える遠藤さん、地域デビューは婦人会。平成13年に解散しましたが、18年間尽力し、平成5年からは町会役員として婦人会と両立しながら活躍されました。

町会業務以外にもイベントの時は特技の日舞を披露され、春日神社祭礼の時や、長生会役員の傍ら誕生会参加者にも披露されてきました。

一方、明るい選挙推進委員も16年間貢献されてきたのです。

いつも明るい遠藤さん「健康のためには特に何もしていないが、地域活動が私の健康法かしら」と笑いながら語っていました。

♪文化の森実行委員 山本 祐子さん

区報の「地域ボランティア募集」の文字になんとなく惹かれたのが始まり。いつでもやめられるという軽い気持ちだったのが、気がつくと「地域ボランティア」は生活の一部になっていた。

小さな子どもがいてパートもしつつのボランティアは大変そうに見えるようだが、私にとっては気分転換と出会いを楽しむ大切な時間。働く母を見せるのにもいい機会だ。職場に子どもを連れて行くことはできないが、ボランティアには一緒に出かけられる。子どもはボランティアを「ママのお仕事」と呼び、一緒に来て家族以外の人とひそかに楽しんでいる。ボランティアを通して知り合いが増えたことに興味した夫は「僕よりずっと世間が広いね」と。

♪中央一丁目町会 三遊亭時松さん

落語家の三遊亭時松と申します。落語の世界では住人は常日頃のご近所付き合いを非常に大切にしておりますが、わが町会でもお祭りや催し事等に皆さん積極的に参加されているようにお見受けします。ご近所付き合いの慣習がしっかり残っているのですね。私の近所も子どもの頃からの顔見知りの方が沢山いらしてよくお会いしますし、声を掛けて頂く事もあります。そういった何気ない言葉の遣り取りだけでも人と人が繋がっているんだなぁと強く感じます。

こう言ったコミュニティーの繋がりは今のようない時代益々大事になって行く気がしていた折、私も、とある方にお願ひされまして昨年より消防団に入る事になりました。

落語と消防、嘶のテーマに火事がありますが、何しろ落語界はちゃんとする事が出来ない大人たちの集まりなので、こういった責任ある事を私に任せて良いのかしら？と本気で今でも自分で心配しております。商売柄、中々訓練に参加できませんが、一大事の折には皆さんの足を引っ張ることだけは無いように気を付けたいと思います。

目から火のでる所帯をしても
火事さえ出さなきゃ水いらず
皆様どうぞ火の始末だけはお気をつけ下さい。

♪新井宿七丁目町会 吉川 勉さん

40年間の役所生活を変えるには、並々ならぬことでありました。退職するとこれまでの生活が一変するので、まず目標を定め、毎日のリズムを軌道にのせることが大事でありました。

旅行計画など生活を楽しむ余裕ができたころ、老人クラブからお声があり、即入会し、大勢の皆様と顔馴染みとなるうちに町会の各運営業務、ボランティア活動にも参加し、親睦を深めることができました。

現在は町会役員として、毎日充実し、地域発展のために、微力を尽くしたいと思っております。

あなたも、地域デビューしませんか * 体験談集 *



春風に乗って気軽に地域の活動に参加してみませんか？
今までとは違った世界がみえてくるはず。
今回はひと足お先に地域デビューを果たした新井宿在住の皆さんの貴重な体験談を特集しました。



♪中央四丁目町会 若生 一順編集委員

会社勤めに終止符を打ち、空白期間のあと、教育委員会主催する「地域活動ステップアップ講座」に参加して感触をつかみ、文化の森や近隣の小学校でボランティアをし、得意なことで地域に溶け込むことを始めました。

さらに地元町会で何かお手伝いがしたいと直接町会役員の方に相談したところ、数ヶ月後に図らずも本紙の編集委員に推薦していただきました。ためらいを捨ててまず一歩足を踏み出したのがよかったのかもしれない。

これからも皆さんと共にこの地域のすばらしさを発見し、伝えていきたいと考えています。

♪文化の森文化プレーヤー 栗原 勝彦さん

リタイアして数年は地域のことはほとんど関心がなく、依然として会社仲間との交友が中心でした。文化の森が近くでもあり時々訪れていましたが、利用は専ら図書コーナーでした。そんなとき、家内が男性中心の料理教室の話を持ち込んできて、勧められるまま参加したのです。その出会いがきっかけで、ほかの活動にも参加しているうちに、知人も増えて、活動自体が面白くなり、多くの方々とつながりのなかで大田文化の森での活動を中心に、様々な活動に参加するようになったのです。

こうして振り返る小生の「地域デビュー」は、ちょっとしたきっかけで素晴らしい人々との出会いを得たことが始まりでした。これからは、「偶然の出会い」を大切に、無理をせず、肩に力を入れず、臆せず堂々と、地域活動に参加できればとてもありがたいことだと思っています。

♪新井宿五丁目町会 長谷川 朋子さん

自分の健康管理にと習い始めた水泳教室で、その指導にあたって下さった「大田区障害者スポーツ指導者研究会」の方から、お誘いを受けて、現在はスポーツ指導のサブリーダーとして活動。また、年に一回ですが、新井宿福祉園祭りでは、利用者の方のサポート役として祭りを楽しむお手伝いを続けております。

この他、町会役員として、地域の諸行事活動にも携わっております。いつの間にか地域デビューを果たしていたことを改めて自覚しているところです。

学生時代から、ボランティア活動に自然体で参加していたこともあり、地域の活動にもスムーズに溶け込める下地があったのかもしれませんが。

心地よい疲れと楽しく充実した日々を過ごせることに感謝しております。

♪山王三・四丁目自治会 荻原さんご家族

千史さん
この地に住み始めて18年目を迎えます。現自治会長のご近所ということもあり、防災協力隊のお手伝いははじめて14年ほど経ちます。

防災活動や夏の子ども祭り、ゴルフコンペ「山王マスターズ」などの催事運営に関わり、地域の皆さんとの交流も深まりました。地域への愛着は、人と人とのつながりから生まれてくるのだと実感しています。町会活動を始めて、地域をますます好きになっています。

咲子さん
同じ会社だった現自治会長に偶然出会い、そのキョーレツな個性に引き込まれて町会の救護隊に入ることになりました。家族を災害から守る救急救命のAEDやプリザーブドフラワーの講習会を開催しています。ボランティア活動で、楽しく有意義な時間を過ごしています。

かやのさん
父と母が町会に関わっていて、大変なのかな？楽しいかな？と少し興味を持っていました。就活中の大学3年の時、父の紹介で広報の方にお話を聞くチャンスがあり、町会の広報ポスターづくりや音楽バンド活動にも参加しました。今は社会人1年生なのですが、休日、協力できる範囲で無理なく参加でき、地域の様々な方とお話できて楽しいです。